

令和5年度 特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもの育成に努める。

あおば4組 学級経営案

担任 下村 麻美

目標			一学期	二学期	三学期	
1 他者と関わり、自分のよさに気付くことができるようにする。 2 成功体験を積み、自信をもつことができるようにする。 3 多くに「気付き」「考え」「実行する」できるようにする。 4 自分のことは、自分でできるようにする。						
学級重点目標	1	自分のよさや課題に気付くことができる。				
	2	学校生活に見通しをもち、考えて行動することができる。				
	3	自分のことを自分で解決することができる。				
	4	保護者との連携を図り、個に応じた支援を行う。				
学級経営の具体策	Ⅰ 豊かな心と健やかな体	1	当番・係活動を自覚し、工夫することで、学級への所属感を感じ、成功体験を積みことができるようにする。			
		2	交流学級での役割や友達との関わりを理解し取り組むことで、交流学級での学習に参加できるようにする。			
		3	生活習慣を整えること、学習用具等の準備をすることへの意識を高め、自分でしようとするできるようにする。			
		4	遊びの機会を増やすことで、運動することの楽しさに気付くことができるようにする。			
		5	不審者対応や交通安全等の意識を高めることで、自分の命を守る意識をもって生活できるようにする。			
	Ⅱ と確かな伸学力	1	一日の流れに見通しをもち、落ち着いて一日を過ごすことができるようにする。			
		2	子どもの実態に応じた学習方法で取り組むことで、遊びの楽しさを実感することができるようにする。			
		3	本にふれる機会を増やすことで、本に慣れ親しみ、「家族読書の日」の取組ができるようにする。			
	Ⅲ 信頼される学校	1	学校・家庭との連絡を取り合い、同じ言葉掛けや取組をすることで、相互の教育効果を高めるようにする。			
		2	個別の指導計画を作成・更新することで、短期目標を意識しながら過ごすことができるようにする。			
		3	学校・家庭・地域のつながりに気付くことで、家庭や地域に感謝の気持ちをもつことができるようにする。			